



特集1 新型コロナウイルス感染症対策に係る主な取組み

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、教育委員会では以下のとおり取組みを行います。

1 学校現場における具体的な取組み

1 学校・幼稚園における新型コロナウイルス感染症対応 保健マニュアルの作成

令和2年5月に、学校・園における感染症対策をまとめたものとして、保健マニュアルを作成し、対策の徹底を図っています。



◆具体的な取組み内容(抜粋)

- 1 各学校・幼稚園における石鹸やアルコール消毒液、マスク等の衛生物品の常備
- 2 3密の回避に係る学校での取組み
 - ・児童生徒の距離を1~2m保つ。
 - ・換気の悪い密閉空間としないよう、換気を最低1時間に1回行う。
 - ・手洗いやトイレでの3密を避けるための掲示物の工夫
- 3 教室等のドアノブやスイッチ、清掃用具、大便器、便座、洗面台、蛇口、トイレットペーパーホルダー、水栓レバーなど最低でも1日1回以上の消毒
- 4 教育委員会に感染症対策の相談部署を置き、保健所等の専門機関と連携



◆学校現場で上記以外に実施している感染予防のための工夫

- ・下校後にも児童生徒の机やイスに加え、共有するものなどの消毒実施
- ・手洗いや消毒、ソーシャルディスタンスについて分かりやすく教室や廊下などに掲示



2 オンライン学級活動の実施・検討

高見中学校(5/12)・高見小学校(5/28)において、ウェブ会議システムを活用してオンライン学級活動の実証を行い、子どもたちは、始業式以来の友達や担任の先生との再会をいつもとは違う形での関わり方で楽しみました。



今後はこの実証実験を踏まえて、実施に向けて検討を行います。

3 オンラインミーティングの実施・検討

臨時休業期間中の学校の中学3年生と小学6年生を対象に、心のケアを目的として、6/5にオンラインミーティングを行いました。

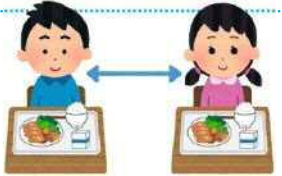


参加した子どもたちは、友達や担任の先生との再会が嬉しかったようで、楽しそうに話をしており、今後も実施に向けて、引き続き検討を行います。

3 学校給食再開に向けた取組み

1 学校における新型コロナウイルス感染症対応 学校給食関係マニュアルの作成

給食時間は児童生徒の混雑が予想され、食事中においてはマスクを外す必要があるため、給食再開にあたっては、文部科学省が示すマニュアル等を踏まえ、本市教育委員会において「学校における新型コロナウイルス感染症対応 学校給食関係マニュアル」を作成し、給食時間における衛生管理の徹底を図っています。



2 献立内容の変更

汁物の献立を炒め物や煮物に変更するとともに、栄養摂取量を維持しながら、おかずをお椀ものみにします。これらの献立の変更により、

- 1 配膳しやすくなるため、配膳にかかる時間の短縮及び教室での混雑防止
 - 2 返却時に残食が飛び散ることを防止
- の効果が期待できます。

3 フードカバーの導入

給食用のお椀に被せるフードカバー(蓋)を順次、導入します。配食時につぎ分けたお椀にフードカバーを被せることで飛沫感染の防止を図ります。



2 教育委員会が行う主な取組み

1 学校における新型コロナウイルス感染症対策

新規

学校に常備するためのアルコール消毒液、マスク等の衛生物品などの追加購入、消毒清掃業務を行います。



予算額 6億円

2 学校と子どもたちを結ぶオンラインによる支援事業

新規

学校と家庭がインターネットでつながり、顔や様子を見ながら指導や相談を行うことができるシステムを構築します。*学校におけるICT環境の整備については3ページに記載。



予算額 3,000万円

3 子どもひまわり学習塾事業

拡充

本事業は、小学校は国語科・算数、中学校は数学科・英語科の基礎的・基本的内容の補充学習を行う事業です。

学校再開後の授業は、通常より早いペースで進行するため、適応しづらい児童・生徒が出てくることが想定されます。特に中学校3年生については、今後の進路に直結する課題となるため、拡充して取り組みます。



予算額 5,250万円

4 学校再開における学習支援のための教員配置

新規

学校規模や新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休校措置の状況等を踏まえ、小学校6年生及び中学校3年生の学校再開における学習支援のために教員を追加で配置します。

予算額 8,250万円

5 学校業務補助員の配置

新規

学校再開後の円滑な学校運営をサポートするため、主に学校施設の定期換気や定期消毒業務を行う「学校業務補助員」を、5月25日の学校再開にあわせて臨時的に全市立学校に1名ずつ配置しています。なお、小・中・特別支援学校については、8月末まで配置を延長する予定です。

予算額 1億3,928万円

6 児童生徒の心のケア

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーが新型コロナウイルス感染症拡大に伴う児童生徒の心のケアにきめ細かく対応します。



7 教育センターホームページにおける情報発信

「①北九州市教育委員会 新型コロナウイルス感染症特設サイト」に教育長メッセージなどを掲載するとともに、「②まなQチャンネル」において、学習支援に関する情報を随時掲載していきます。



①サイト QRコード



②サイト QRコード

4 その他の主な取組み

教育委員会に対してマスク等の寄贈がありました。各市立学校・幼稚園に配布し、使用する予定です。温かいご支援と応援をありがとうございます。

3/13、16	曾我部 駿介 様	2,600枚
5/13	一般財団法人北九州市PTA協議会教育財団・ 一般社団法人北九州市PTA協議会	4万枚
6/4	株式会社 KEYMAN COMPANY	10万枚
6/5	匿名ご希望	6,000枚 (消毒液 54リットル)



特集2 令和2年度に教育委員会が行う主な取組み



時代を切り拓く力の育成

小池特別支援学校整備事業

本市西部地域における知的障害の児童生徒の増加への対応と、老朽化した校舎や、狭い運動場などの課題を解消するため、令和5年度中の供用開始に向けて、平成29年度から小池特別支援学校の整備を行っています。令和2年度は、第1期工事として主に管理・教室棟の一部、体育館・プール棟の改築工事を行うとともに、第2期工事の実施設計に着手します。



▲小池特別支援学校イメージ図(最終形)

令和2年度予算額 8億3,900万円

新規 医療的ケア児支援事業

児童生徒本人や保護者が安心して学校生活が送れるよう、必要に応じて派遣型の看護師を小中学校等に派遣するとともに、関係機関との連携を強化し、緊急時の対応体制を整備します。



令和2年度予算額 550万円

働きがいのある学校づくり

新規 教員の人材確保推進事業

教員不足が全国的に問題となっています。そのため、本市教員採用試験の志願者を確保するために、「本市で働く教員・北九州市の『教員のサポート体制』」の魅力伝えるPR動画を作成して、教員を志願する大学生などに広く公開します。



令和2年度予算額 230万円

スクール・サポート・スタッフ配置事業

学校現場における業務改善の一環として教員の負担を軽減し、子どもと向き合う時間を確保するため、スクールサポートスタッフを増員します。



令和2年度予算額 2億2,385万円

【主な業務内容】

- 学年だより、学級だより、会議資料等の印刷
- 印刷物及び学校配布物の数量確認と仕分け(学級別、該当者別等)
- 掲示物の張り替え
- 来客時の取次ぎ
- 電話の取次ぎ
- 校内清掃 など



未来を見据えた環境整備

学校ICT環境の整備

多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された学びを学校現場で持続的に実現させる「GIGAスクール構想」の一環として、本市では、小・中・特別支援学校(小学部・中学部)について、
①1人で1台利用するタブレット型端末の整備(【目標】令和3年1月)
②無線LAN環境(アクセスポイント)等の整備
などの取組みを行い、全ての子どもたちの学びを保障する環境づくりを早急に実現します。



総事業費(令和7年度まで)	47億9,661万円
うち、令和2年度予算額	33億9,601万円

図書館に関する事業

新規 八幡図書館折尾分館運営・移転事業

折尾地区総合整備事業に伴い移転する折尾分館について、基本設計等に着手するとともに、令和2年度からは、JR高架下へ移転新設するまでの間、折尾駅周辺の民間ビルに仮移転し図書館業務を継続します。

移転住所

八幡西区折尾一丁目9番1号
(坂田ビル102号室)

令和2年度予算額 1,380万円



安心な学びの場づくり

防災・減災教育の推進 ～「守られる人」から「守る人」へ～

近年、大規模な気象災害や震災等が発生しており、自分の命は自分で守らなければならない場面があります。本市においても、平成30年7月に発生した豪雨では、実際に大雨や土砂災害の被害が発生し、児童生徒や学校が対応に苦慮したことから、将来、起こりうる災害に備えた取組みが必要となります。そこで、下記の事業に取り組むことで、「自分の命は自分で守る」とともに、「守られる人」から「守る人」となる児童生徒の育成を目指します。



令和2年度予算額 200万円

■北九州市防災教育プログラム(改訂版)の効果的な実施■

主な改訂内容

- ◆新学習指導要領の内容に沿った指導展開例
- ◆修正に伴い、付属のDVDのデータを資料編として再編集
- ◆災害時に、自分で判断し行動するための知識の定着を図るために、追加版として「雨・台風編」「地震編」「避難行動編」「ハザードマップ編」を追加



⇒北九州市防災教育プログラム(改訂版)は、動画配信サイトkitaQせんせいチャンネルに掲載しており、各学校の実態に合わせて活用します。

■モデル校による防災・減災教育の推進■

児童生徒が主体となって、学校・地域の実態に応じた防災・減災へ取り組み、北九州市全体に発信・啓発していきます。

モデル校

- ◆児童生徒が主体となった防災・減災の取組み
- ◆学校・地域の実態に応じた防災・減災教育の推進
- ◆児童生徒による防災・減災教育先進地訪問

授業公開
→
発信・啓発



北九州市全校・園へ普及

※新型コロナウイルスの感染状況により取組みが変更になる可能性があります。

■災害時における避難場所の共有■

平成24年度より、大地震、津波等の突然の災害に備えて、新入園児・新入生を対象に「災害時連絡カード」を配布していましたが、今年度より、毎年必ず家庭で避難場所を確認し、災害時に即座に対応することができるように、家庭調査票に避難場所を記入する欄を設定しました。



YouTube 北九州市教育委員会
公式チャンネル

授業動画や新型コロナウイルス感染症啓発動画等を公開しています。



教 員 の 魅 力 発 信

Vol.2



©ていたん&ブラックていたん,北九州市

子どもたちの笑顔のために
～先生の仕事って…～



■「環境が人をつくる、その環境は人がつくる」という言葉があるように、先生たちは教室や廊下などを整頓したり作品掲示を行ったりしています。



小・中・特別支援学校 共通

先生たちの放課後

- 教室、廊下などの整頓
- 欠席者への連絡や家庭訪問
- 授業の準備
- ミニテストやノートのコメントの記入や評価
- 学校全体に関わる業務（行事の計画や事務処理など）
- 会議や研修、打ち合わせ など

「先生って、子どもたちが帰ったあと、何をしてるんだらう…」と聞いたことはありませんか？
「中学校時代、忘れ物を取りに学校へ戻ったとき、教室でひとり、生徒の作品にコメントを書いて掲示している担任の先生の姿を見て、『先生って、私たちの知らないところでいるんなことをしてくれてるんだな』と嬉しくなった」という話を聞いたことがあります。
「教員の魅力発信」第二回は、小・中・特別支援学校で活躍されている先生たちの「放課後」について紹介します！

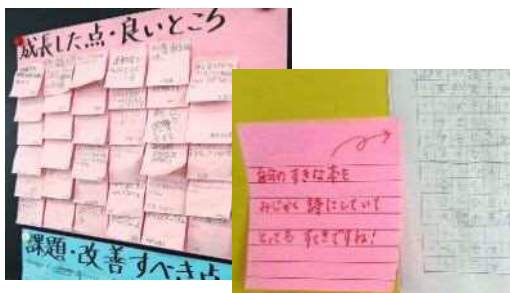
先生たちの「放課後」！



■毎日、次の日の授業をどう進めるかを考えながら、教材研究や授業の準備をしています。



■学習したことをいつでも振り返ることができるようにポイントなどをまとめ、教室や廊下に掲示しています。



■先生は、子どもたちの成長や友人のすぐれた取組みがわかるように、手本となるノートにコメントを添えて掲示するなど、子どもたちが帰った後も、さまざまな仕事を計画的に行っています。スクールサポートスタッフがいる学校では、印刷や掲示作業を分担して行っています。

先生たちは、放課後も子どもたちのことを考えて頑張っています！



©ていたん,北九州市

中学校



部活動休養日があるので、練習にもメリハリができますね！



©ブラックていたん,北九州市

■部活動では、学級では見られない生徒の姿を発見したり、担当学年以外の生徒の様子がわかったりするなど、先生たちにとって大切な時間となっています。



令和元年度 杉浦奨学金贈呈式

芸術・文化、学術、スポーツの各分野で優れた成績を残し、将来の北九州市の文化振興の担い手となる人材を育成するため、北九州市文化振興基金及びその運用益の一部をもって、修学資金の一部が給付される「杉浦奨学生」に、令和元年度は卓球や陸上競技、ピアノ等で活躍している6名(高校生5名、大学生1名)の方が決定しました。

平成4年度に事業を開始して以来、令和元年度までに166名が杉浦奨学生として採用され、過去の奨学生の中には、オリンピック代表や世界大会・アジア大会に日本代表として出場された方、国内外での音楽活動など輝かしい実績を挙げている方などが多数おり、今後の杉浦奨学生も将来の更なる活躍が期待されます。



令和元年度 福原賞表彰式

令和2年2月5日(水)小倉北区役所812会議室にて「令和元年度 福原賞表彰式」を行いました。

「福原賞」とは、本市の小中学生の善行(人命救助等)やボランティア活動、地域貢献で顕彰すべき行為をした児童生徒を表彰するものです。

- 本年度は、
- ・環境委員会が中心になり、ペットボトルキャップを1年間で66.2kg回収し、ポリオワクチン16.5人分を贈った。また、計画委員会が主体となり、毎朝あいさつ運動を行っている。(広徳小 全校児童)
 - ・体調が悪くなった高齢者を大人の方と一緒に介抱し、救急隊に引き渡した。(八幡小 2年女子2名)
- など、小・中学生個人25名と9団体が受賞しました。

